

## 大学のある地域の動植物調査の成果を「図鑑」と「カルタ」に

今年度、総合的な学習の時間担当に加えて理科教育担当の教員が、3年専門演習「子ども生活と教育」ゼミナールを新たに担当することになりました。それならば、SDGsも意識した自然環境研究を進めようと、ゼミ生と一緒に大学のある地域の動植物調査を行うことにしました。本学の北側には田畑や用水もある上に、家庭菜園やガーデニングなど緑の環境を大切にされた家々もあります。そこで、春と秋の2回、専門演習の時間に散策活動を行い、ゼミ生が写真撮影して記録をとってきました。

その写真をセレクトし、さらに見つけた動植物の知識を深め、小学校高学年対象の「図鑑」（紙媒体と現代のタブレット端末活用も意識しての電子データ）、さらに40種を厳選しての「カルタ」にまとめました。

1月12日、この「カルタ」を実際に地元の小学校5年生に楽しんでもらうことになりました。そして、その「カルタ」と「図鑑（1冊+CD）」を1クラスずつに贈呈します。総合的な学習の時間の環境教育や、動植物を扱う理科教育に役立ててもらえそうです。







## 小学校で自然学習カルタとり大会

3年専門演習の1つ「子どもの生活と教育」ゼミナールの学生4人と担当教員2人で作成・編集した「北名古屋市熊之庄地域の動植物カルタ」。これを楽しみながら自然学習に役立ててもらおうと、地元の小学5年生2クラスで「カルタとり大会」をしてもらいました。初めは「お手付き」もあって「1回お休み」の子たちもいましたが、さすがに5年生です。1回目で動植物の特徴を捉えて、2回目は素早く、そして間違えなくお目当てのカードをとっていました。最後に、各クラスに1式ずつ「図鑑（冊子+CD）」と「カルタ」をプレゼントしました。それを受けてクラス代表の子からうれしい感想とお礼の言葉をもらえて、学生達もとてもやりがいを感じていました。







